

17 白山吉野オートキャンプ場



管理サニタリー棟

本施設は「まほろばの郷」を基本概念とし、ふるさとの田園風景の中に山村生活のかつての豊かな暮らしを体験する園地である。キャンプ場として「自然の成り、共同作業、非合理・非効率の豊かさ、不自由の克服」をキーワードとしており、地域住民はもちろん県内外を問わず広く人々が集まり、宿泊し、ふれあいを持つことができる施設として計画している。



和風のイメージ：多雪地域に配慮してRC造としつつ、外壁仕上げを工夫し和風のイメージを持たせている。内部においても、小屋組を木造とし在来の木構造の力強さと美しさを表現している。

バリアフリー：車いす利用者をはじめ、すべての人が利用しやすいキャンプ場を目指し、設計段階から施工段階までバリアフリー推進工房とともに検討を行った。
建物内はもとより、園内の通路は極力段差をなくし、各トイレ棟には多目的トイレ、管理棟には車いす利用者も使用可能な多目的シャワールームを設けた。

：瓦葺屋根にし、県産瓦を使用

：トイレ内の壁タイル

DATA

白山市吉野地内
平成17年3月～平成18年3月
416㎡

管理サニタリー棟
RC一部W造：1F
246㎡

トイレサニタリー棟1
RC一部W造：1F
77㎡

トイレサニタリー棟2
RC一部W造：1F
77㎡

ゴミステーション
CB一部W造：1F
14㎡